

<当院職員における新型コロナウイルス感染症の発生について 第2報>

白山リハビリテーション病院の職員に新型コロナウイルスの感染者が発生したことをご報告します。

11月12日に当院の職員1名がPCR検査陽性となり新型コロナウイルスへの感染が発覚しました。

当該職員は、患者様に直接応対する機会のない職員であり、行動履歴の確認からも、患者様との接触は確認されておりません。

感染者の立ち入りエリアは消毒を実施するとともに、濃厚接触者が疑われる職員全てを自宅待機としました。

本件について春日井保健所に報告したところ、濃厚接触者とみなす職員はなく院内感染は発生していない状況であり、通常通り診療の継続可能との判断を受けました。

その後、当院独自の判断で接触の可能性が少しでもある職員（約30名）に対してPCR検査を実施し、2名陽性者が判明いたしました。その陽性者は保健所の指示により14日間の待機をしています。

院内の感染対策としましては、これまで通り職員および入院患者様の手洗い・手指消毒・マスク着用・うがいなどを徹底して行ってまいります。

皆様には大変ご心配、ご迷惑をおかけいたしますが、感染拡大防止に全力を上げて取り組んでまいりますので、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和2年11月14日

病院長 保坂 実